



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社
コード番号 5491 URL http://www.nipponkinzoku.co.jp/
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 下川康志
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 丸山尚之 TEL 03-5765-8105
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	36,857	13.1	2,522	126.8	2,533	127.2	1,952	139.7
29年3月期第3四半期	32,576	1.0	1,112	117.4	1,115	82.7	814	121.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,458百万円 (183.5%) 29年3月期第3四半期 867百万円 (77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	291.60	—
29年3月期第3四半期	121.64	—

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	61,416	19,861	32.3	2,966.88
29年3月期	59,881	17,717	29.6	2,646.51

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 19,861百万円 29年3月期 17,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	11.3	3,100	74.5	3,100	85.0	2,100	56.3	313.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	6,700,000株	29年3月期	6,700,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,427株	29年3月期	5,345株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	6,694,607株	29年3月期3Q	6,695,022株

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、労働需給面においては、依然として需要が旺盛なことで人件費の上昇がみられ、わずかながら物価も上昇いたしました。海外においては、米国では政治的な不安定さが続いておりますが、経済については概ね堅調に推移いたしました。アジア圏におきましても緩やかな成長が続いており、経済は堅調でありました。

ステンレス業界におきましては、国内では需要が堅調な環境にありましたが、国内外において、鉄源価格の上昇などで、製品原価は上昇基調で推移しておりますため、適正な製品価格を維持することが業界全体の課題として認識されております。

このような状況で、当社グループは、生産効率改善の継続した取り組みや営業面での原材料価格動向の販売価格への適時な反映への取り組み効果もあり、前年同四半期連結累計期間と比べて増収増益とすることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べて42億8千1百万円（13.1%）増収の368億5千7百万円となりました。損益面につきましては、前年同四半期連結累計期間と比べて、営業利益は14億1千万円（126.8%）増益の25億2千2百万円となり、経常利益は14億1千8百万円（127.2%）増益の25億3千3百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億3千7百万円（139.7%）増益の19億5千2百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① みがき帯鋼部門

みがき帯鋼部門におきましては、外観仕様が厳格な自動車用光モール向け製品が引き続き好調でありましたことや、スマートフォン・ゲーム機用精密部品向け製品の増加もあり、高付加価値ステンレス鋼製品の販売は引き続き堅調に推移いたしました。また、みがき特殊帯鋼製品においても、主に自動車向けでの販売を増やすことができましたことや、みがき帯鋼部門全体で販売価格への適時な反映を行ったことで、前年同四半期連結累計期間と比べて、売上高は35億1千4百万円（13.5%）増収の295億9千7百万円となり、営業利益は13億8千3百万円（110.5%）増益の26億3千4百万円となりました。

② 加工品部門

加工品部門におきましては、自動車用高精度異形鋼の新形状製品の量産や需要に応じた原料の確保を着実に実行したことや、ファインパイプの新規受注や既存製品の確実な受注で販売増ができたことで、前年同四半期連結累計期間と比べて、売上高は7億6千6百万円（11.8%）増収の72億6千万円となり、営業利益は8千7百万円（14.9%）増益の6億7千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ15億3千5百万円増加の614億1千6百万円となりました。

流動資産は、12億5千万円増加の301億3千9百万円となりました。これは主に、金融機関の休日に当たる当連結会計期間末日を期日とする受取手形12億6千4百万円が未決済となったこと等により、現金及び預金が15億2千1百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が27億6百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、2億8千4百万円増加の312億7千6百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3億3千6百万円増加し、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が株価上昇等により2億8千6百万円増加した一方、繰延税金資産が2億8千7百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ6億9百万円減少の415億5千4百万円となりました。

流動負債は、27億9千4百万円増加の284億3千6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が16億4千6百万円増加し、短期借入金が8億9千6百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、34億3百万円減少の131億1千7百万円となりました。これは主に、長期借入金が31億7千万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、21億4千4百万円増加の198億6千1百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金で親会社株主に帰属する四半期純利益19億5千2百万円が計上された一方、土地の売却に伴う土地再評価差額金1億4千6百万円の減少等があり、16億3千8百万円の増加となりました。

その他の包括利益累計額は、前述の土地再評価差額金の振替のほか、その他有価証券評価差額金が1億9千3百万円増加したこと等により、5億6百万円の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の29.6%から2.7ポイント上昇し、32.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年7月31日に発表いたしました業績予想数値を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正することといたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年1月31日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,102	6,581
受取手形及び売掛金	11,543	14,249
商品及び製品	4,013	3,799
仕掛品	3,532	3,959
原材料及び貯蔵品	1,119	1,084
その他	609	487
貸倒引当金	△31	△22
流動資産合計	28,888	30,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,909	3,891
機械装置及び運搬具（純額）	6,132	6,012
土地	16,287	16,239
その他（純額）	1,345	1,868
有形固定資産合計	27,674	28,011
無形固定資産	62	45
投資その他の資産		
投資有価証券	2,359	2,645
その他	933	615
貸倒引当金	△37	△41
投資その他の資産合計	3,255	3,219
固定資産合計	30,992	31,276
資産合計	59,881	61,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,996	13,642
短期借入金	10,403	11,300
賞与引当金	342	144
返品調整引当金	73	73
その他	2,827	3,275
流動負債合計	25,642	28,436
固定負債		
長期借入金	10,753	7,582
再評価に係る繰延税金負債	3,041	3,041
退職給付に係る負債	2,059	1,942
その他	666	550
固定負債合計	16,520	13,117
負債合計	42,163	41,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	3,879	5,518
自己株式	△9	△10
株主資本合計	11,713	13,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831	1,025
土地再評価差額金	5,852	5,998
為替換算調整勘定	74	152
退職給付に係る調整累計額	△754	△666
その他の包括利益累計額合計	6,004	6,510
純資産合計	17,717	19,861
負債純資産合計	59,881	61,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	32,576	36,857
売上原価	27,648	30,328
売上総利益	4,928	6,528
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	822	919
役員報酬及び給料手当	1,645	1,679
賞与引当金繰入額	27	36
退職給付費用	91	101
減価償却費	136	136
その他	1,093	1,133
販売費及び一般管理費合計	3,816	4,006
営業利益	1,112	2,522
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	48	55
受取賃貸料	95	86
その他	45	58
営業外収益合計	191	203
営業外費用		
支払利息	93	82
為替差損	14	53
賃貸費用	52	37
その他	28	18
営業外費用合計	188	191
経常利益	1,115	2,533
特別利益		
固定資産売却益	—	98
特別利益合計	—	98
特別損失		
固定資産除却損	6	28
減損損失	99	—
会員権評価損	—	10
その他	—	1
特別損失合計	106	40
税金等調整前四半期純利益	1,008	2,591
法人税、住民税及び事業税	183	424
法人税等調整額	10	214
法人税等合計	194	639
四半期純利益	814	1,952
親会社株主に帰属する四半期純利益	814	1,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	814	1,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200	193
土地再評価差額金	—	146
為替換算調整勘定	△218	77
退職給付に係る調整額	70	88
その他の包括利益合計	52	506
四半期包括利益	867	2,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867	2,458
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。